

◇熊谷良夫君

○議長（伊藤福章君） 12番、熊谷良夫君の一般質問を許可いたします。熊谷良夫君、登壇願います。

（12番 熊谷良夫君 登壇）

○12番（熊谷良夫君） 12番、熊谷です。一般質問を行います。

さきの大戦が終結して、終戦の年から61年が過ぎました。先月発行されました地方議会人の3月号に次のようなことが載っています。

「我が国は高度経済成長期を経て、安定成長期、さらに激動の変革期へとさまざまな時代を経験してきた。

こうした時代背景をもとに、地域社会は人に優しい生活環境をつくり上げてきたらどうか。殺伐たる事件が連日報道されている。我が子が1人で安心して学校から帰宅できない時代、世界屈指の長寿国と言われながらお年寄りに真に優しい地域社会を実現しているか。効率のみを求める時代を評して人間性の喪失、地域コミュニティーの崩壊を指摘する声は多い。

今こそ人を思いやる心、互いに助け合う心、信頼関係の絆を育て、人に優しいまちづくり、正面から取り組んでいかなければならない。」と書いてあります。

よく言われていることですが、全くそのとおりだと思っております。

美郷町総合計画の中のまちづくりの留意点として、「住民意向の反映、均衡ある地域の発展、地域一体化の推進、行政サービス水準の維持、向上」の四つが挙げられています。

このことを踏まえて、次の事柄について町長の見解をお伺いします。

顔の見える距離、声の聞こえる範囲として、小さな合併を選択した美郷町は、2万4,000人のみんなが顔見知りなことが大切ではないでしょうか。役場に用事で行っても、知っている人が少なく、相談しづらいとの話をよく聞きます。私は、役場の職員の顔がわからないという不満を解消することがまずさきに上げた地域一体化の推進、行政サービスの水準の維持、向上のための手始めではないかと思えます。

J A農協が出した部署ごとの顔写真入りのパンフレットのようなものを発行してはどうかと思うのが私の第1の提案、希望であります。

次に、子供を守る取り組みを強化していかなければというのが二つ目の提案です。

「子ども見まもり隊」のステッカーの目的はどこにあるのでしょうか。「地域のみんなが常に見回っていますよ」ということで、不審者に無言の圧力をかけるのであるならば、下校時におけるパトカーの定期的な巡回が一番効果があるのではないかと考えられます。

私は、交通安全協会の一員として、弱者である子供たちとお年寄りを交通事故から守ろうということで活動しておりますが、そんな中でも、昨今の社会情勢を踏まえ、あらゆる犯罪から子供たちを守ろう

ということが話し合われてきています。

私たちの所有している広報車や交通指導隊の広報車をもっと活用すべきではないでしょうか。

次の提案として、私たちにとっては、毎日自宅の前を通過して学校に通っている子供たちは近所の子供であり、隣の家の孫であります。子供たちにとっては、私は知らないおじさんの1人であることが多い現状にあります。多分そう感じている方も少なくないと思います。「子ども見まもり隊」のステッカーのほかに腕章あるいは名前をつけたワッペンなどがあれば、もっと積極的に子供たちに声をかけることができるのという要望が出ております。声かけ運動から顔を覚えてもらい、そこから地域の一体化が始まるのではないかと思います。

次に、以前ほかの議員が一般質問の中で町内全部の児童を対象にした通園バスで送迎する提案がありましたが、その後検討していたでしょうか。

新潟県加茂市では合併しない市町村の一つとして、独自の施策を実行しております。人口3万3,000人の中で全児童を対象にした通学バスを運行しております。

このような時代だからこそ、真剣に検討することに値する事柄ではないかと思いますが、町長はいかがお考えでしょうか。

「人にやさしいまちづくり」にはいろいろな政策が考えられますが、以上のことについて町長の見解をお伺いいたします。

○議長（伊藤福章君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） 熊谷議員のご質問にお答えいたします。

初めに、職員の顔写真入りのパンフレット作成のご提案についてですが、合併や分庁方式の採用によりまして、最寄り庁舎に面識のない職員が多くなり、町民の方々が合併前に比べて相談しづらいと感じることについては、理解できると思います。

これを解消するために、職員の顔写真入りパンフレットを発行してはいかがかというご提案ですが、現在町の職員は特別職も含めまして300人おります。町民の皆さんにご認識いただける大きさの顔写真でパンフレットを作成するとすれば、相応の厚みのある冊子になるものと存じます。また、毎年人事異動がありますので、毎年作成しなければなりません。

こうした事情を考慮いたしますと、各世帯に配布するパンフレットの作成、発行は難しいものと考えております。

しかしながら、議員ご提案の趣旨も理解できると思いますので、パンフレット作成と同様の意義となるよう、各庁舎内に職員の顔写真入りの配置図を設置し、気軽にご相談できるように配慮してまいりたいと存じます。

また、顔写真で町民の皆さんに職員を知ってもらうこと以上に、職員みずらが町民の目線で親切かつさわやかに応対することが何より相談のしやすさにつながるものと理解しておりますので、職員の意識向上や接遇になお一層留意してまいりたいと存じます。

次に、子供の安全確保対策についてですが、町では議員ご承知のとおり、安全確保対策の一つとして、ことし2月に地域の皆さんや防犯協会、交通指導隊等の団体、企業のご協力を得ながら「子ども見まもり隊」ボランティアを結成し、「子ども見まもり隊」のステッカーを車に張って運行していただいております。

これは、実際に不審者を発見した場合の通報や緊急保護をお願いするとともに、美郷町は町全体で子供の安全を見守っているということを特定の時間に限って対応するのではなくて、日常的に町内外へアピールし、不審者等に対して抑止力を働かせること、そして、町全体の防犯に対する機運を高めることを目的としたものです。

議員ご提案の交通指導隊広報車による下校時の巡回についてですが、既に交通指導隊の皆さんには交通安全等で町内を指導車で巡回する際、あわせて「子ども見まもり隊」の役割も担っていただきたいことをお願いし、下校時間帯にパトロールしていただいているところです。現在のところ、週2回の巡回となっております。

さらに、今後は教育委員会事務局公用車等に青色回転灯を設置し、下校時間帯に定期的巡回を行うなど、見守りの強化を図るとともに、ボランティア協力者の増加により不足してきた「子ども見まもり隊」ステッカーを再度作成したいため、今般の補正予算に所要額を計上しておりますので、よろしくご審議をお願いいただくようお願いいたします。

また、町内全小学校でもPTA、祖父母、老人クラブ、防犯協会委員等の皆さんによる地域安全見守り隊がそれぞれの学校ごとに立ち上がっており、見守りと声かけ運動等を実施するため、町予算で既に腕章やたすき、帽子などを購入し、取り組んでおりますので、ご理解いただきたいと存じます。

それから、スクールバス運行についてであります。さきの議会で答弁しておりますとおり、美郷町としては、遠距離対策ととらえております。改めてご理解をお願いいたします。

確かに、スクールバスでの送迎は、危険性の低減に効果はあるものと存じますが、それで100%安全とは言い切れない状況もあることに加えまして、子供を守るために大人みずからが実際に汗を流している姿を示すことが将来の大人である子供の健全な成長を考慮しますと重要なことと存じます。やはり、大切なのは、家庭、学校、行政関係者、関係団体のネットワークをしっかりとさせ、地域が一体となって防犯に取り組むことではないかと考えております。

なお、新潟県加茂市から状況を聞いてみますと、スクールバスは、通学距離が1.5キロメートル以上の希望者に対して運行しており、全児童生徒2,713人のうち982人、全体の36%が利用しているとのこと

です。バスは、27台運行とのことでした。

いずれにいたしましても、互いに支え合う心、それぞれ協力し合う心をはぐくみながら、これまでの各般の取り組みを持続、強化してまいりたいと存じますので、ご理解いただきたいと思ひます。

以上をもちまして答弁を終わります。

○議長（伊藤福章君） 再質問ありますか。（「一言だけ」の声あり）12番、熊谷良夫君。

○12番（熊谷良夫君） 交通指導隊の広報車でありますけれども、現在町長もおっしゃっているように、週2回広報しているわけですが、そのほかまだあいていると申しますかですので、あのような事件がありました藤里町で内勤の職員の方が交代で毎日下校時に回っているという新聞報道で見ましたので、そのようなこともぜひご検討よろしくお願ひしたいと思ひます。

これで一般質問を終わります。

○議長（伊藤福章君） これで12番、熊谷良夫君の一般質問を終わります。